

コロナ禍の

普通救命講習会



青木会長

開催への思い

コロナ禍ではあっても、万が一に備える救命講習は必要なことです。町会員の関心も高いこの訓練は、三密を避けマスクを着用するといった感染防止を徹底し、コロナ禍が続いても開催していきたい事業です。



生田副会長

コロナ禍の開催で苦労したことなど

参加人数枠の定員を減らし講習を2部制にするなどの団体が多くなり、会場や救急協会との日程調整に苦労しました。資金面で、新宿区地域コミュニティ事業助成制度を活用し、感染症対策経費が賄えたのは助かりました。

事業の概要

日時	令和3年11月9日
	午前の部 10:00~13:00
	午後の部 13:30~16:30
会場	新宿ファーストウエスト会議室
協力	(公財)東京防災救急協会 新宿消防署
	西新宿一丁目商店街振興組合
主催	西新宿一丁目町会
対象	町会員・組合員・その他
人数	計78名



感染症対策

- ◎受講者の座席は前後左右の間隔を十分に取り配置。座席指定により感染者が発生した場合も情報提供等速やかな対応が可能。
- ◎訓練用のダミー人形は、通常1体につき5名まで使用するところ、1体2名までとする。
- ◎ダミー人形は使用するたびにアルコール消毒する。
- ◎通常は人形を使用して行う人工呼吸の訓練は、マウスピースの使い方とタイミングの説明のみで、実際には行わない。
- ◎テキストのほかにDVDを活用し、感染症対策により実践できない項目について動画でわかりやすく習得できるよう工夫している。
- ◎実際の救命時に必要となる感染防止対策も紹介し、コロナ禍に沿った充実した内容になっている。
- ◎通常3年以内の再受講を推奨しているが、定期的な受講が難しい中、3年以上経過していても再受講扱いとしている。

参加者の声

2年ぶりに講習を受けて、救命方法の再確認ができて良かった



これからの社会生活に活かしていきたい



感染予防対策がしっかりされていて、安心して参加できた

